

☑ 「警戒レベル」で避難のタイミングを確認

市では、災害が発生した場合や発生するおそれがある場合に、5段階の警戒レベルを用いて必要な避難に関する情報(①表)を発令します。警戒レベルに応じた「自身がとるべき行動」を確認し、災害に備えましょう。

警戒レベルと避難に関する情報

警戒レベル	状況	行動を促す情報	自身がとるべき行動
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保!
～危険な場所にいる人は警戒レベル4まで必ず避難!～			
4	災害のおそれが高い	避難指示	危険な場所から 全員避難
3	災害のおそれあり	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難
2	気象状況悪化	大雨・洪水注意報 (気象庁)	自らの避難行動 を確認
1	今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	災害への心構え を高める

●各警戒レベルにおける行動を促す情報(避難情報)が変わりました。

- 「避難勧告」は廃止されました。これからは警戒レベル4「避難指示」で危険な場所から**全員避難**しましょう。
- 警戒レベル5「緊急安全確保」は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。命を守る最善の行動をとりましょう。
- 避難に時間のかかる高齢者や障がいのある方は、警戒レベル3「高齢者等避難」で危険な場所から避難しましょう。また、高齢者以外の方も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら、自主的に避難しましょう。避難行動判定フロー(②図)で災害時の避難について具体的に考えてみましょう。

